

は、下水道施設個別の長寿命化計画に基づき、下水道施設の改築・更新工事を推進するとともに、引き続き下水道施設全てにわたるストックマネジメント計画の完成を目指してまいります。

また、下水道施設の適切な維持・管理等を行い、効率性・経済性を追求し、持続可能な事業運営に努めてまいります。

上水道事業につきましては、災害時にも強い水道施設を目指し、耐震管への変更を伴う重要給水施設配水管整備事業を推進するとともに、計画的な老朽施設の改築・更新を行ってまいります。

また、経費節減と収納率の向上に努め、将来に渡って安全・安心・安定した給水サービスを提供してまいります。

日高地区の簡易水道事業につきましては、管路の漏水調査、修繕により有収率の向上を図るとともに、浄水場における濾過砂の補充工事を行い、安全な水道水の供給に努めてまいります。

安心して暮らせる まちづくり

◎健康づくり

町民の皆様の健康維持につきましては、平成30年度に策定いたしました「日高町第3次保健計画」、「食育推進計画」、「いのちを支える自殺対策行動計画」に基づき、各年代に対応した健康づくりをきめ細やかに取り組んでまいります。

また、新規事業として子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠前から子育て期にわたる総合的相談支援を提供してまいります。

感染症予防対策につきましては、乳幼児の急性胃腸炎の予防のため「ロタウイルス感染症」が予防接種法の対象疾患に追加されることから、ロタウイルスワクチンの定期接種を実施してまいります。

◎地域福祉

地域福祉につきましては、子育て支援や高齢者・障がい者など、対象者ごとに必要な福祉サービスを提

供するため、社会福祉協議会や民間事業者などと連携して取り組んでまいります。

また、民生委員児童委員協議会などへの活動支援も引き続き行ってまいります。

障害者福祉につきましては、障がいのある方が住み慣れた地域で自立した生活ができるよう自立支援給付事業等を通じて環境づくりを支援してまいります。

児童福祉につきましては、現在、広域で運営しております子ども発達支援事業や、通所療育支援事業の在り方についてニーズの把握に努めながら検討をしてまいります。

子育て支援につきましては、多様化する環境やニーズに対応するため、第2期子ども・子育て支援事業計画で示された需要計画の維持及び確保に努めるとともに、子育て支援センターや保育所、児童館などにおける子育て支援体制を充実させながら、安心して子育てできる環境づくりに努めてまいります。

また、学校給食の完全無償化により、子育て世代の

経済的な負担軽減を図ってまいります。

保育所につきましては、老朽化した施設の整備にあたり、各地域の環境やニーズをしっかりと把握するとともに、認定こども園など、私立幼稚園との関わり方についても考慮しながら検討してまいります。

放課後児童健全育成事業につきましては、その需要が確実に増えている現状から、学童保育を必要とする家庭を支援するため、今後適切な事業運営に努めてまいります。

高齢者支援につきましては、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の充実に向けた取り組みを継続し、高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備・構築を「地域ケア会議」で協議するとともに、「地域支え合い推進協議体」において支え合い活動の普及を図ってまいります。

また、介護予防教室や認知症予防などを推進すると

ともに、自主的介護予防活動などを支援してまいります。

日高町の総人口に占める65歳以上の高齢化率は34.5%となり、今後人口減少・少子高齢化が進む中、第8期介護保険事業計画の策定に取り組んでまいります。

国民健康保険事業につきましては、特定健診・特定保健指導の実施率の向上に対し、国が交付金を割り当てる「保険者努力支援制度」が導入されており、町民の健康づくりに向けた取り組みがますます重要となっております。

生活習慣病や糖尿病等の重症化予防の取り組みとして、町内医療機関等との連携により、健康寿命の延伸と医療費の伸びを抑制することを目的とした各種検診等の受診勧奨を進めてまいります。

◎町立病院事業

門別国保病院につきましては、地域医療構想を踏まえ地域に根付いた医療機関として、安心して受診・療養できる医療提供体制を維持するとともに、引き続き

病院改革の取り組みにより、収入の確保に努め経営の安定と地域医療の充実を図ってまいります。

日高国保診療所につきましては、経営シミュレーションを行った結果、入院病床を再開した場合は、さらに経営が厳しくなることが判明したことから入院病床の再開は断念することとします。

今後は無床化による持続可能な医療体制とするために、さらなる経営の安定に努めてまいります。

また、町民ひとりひとりが安心して受診できるように、診療所の現状や診療体制等について、住民への情報提供を充実させてまいります。

富川国保診療所につきましては、医師の確保とともに健診等の受診者増に努めるなど、経営の健全化に取り組む、門別国保病院と連携し、地域医療の充実を図ってまいります。

◎防災対策

防災対策につきまして

は、自主防災組織を主体とした避難訓練の支援により、町民の皆さんの自助及び共助の意識向上に努めてまいります。

また、土砂災害警戒区域に指定された地域のハザードマップの更新を行い、災害時の情報伝達や避難態勢の確立を進め、災害に強い町を目指してまいります。

持続可能な 行財政運営

◎行財政運営

行政運営につきましては、地方交付税などの一般財源が減少傾向にある厳しい財政状況の中、持続可能な財政運営を目指すためには、各種施策や事業について目的や費用対効果を検証するなど、より効率的で効果的な執行を目指すとともに、事務事業の簡素化など経常経費についてもより一層の見直しに取り組んで行かなければなりません。

また、本年度は、各公共施設を効果的・効率的に活用し、必要な公共サービス

を持続的に提供し続けていくため、中長期的な視点をもって公共施設を総合的かつ一体的に管理し、更新・統廃合・長寿命化などの具体的な方向性を盛り込んだ個別施設計画を策定し、公共施設の適正管理に取り組んでまいります。

◎行政改革

行政改革につきましては、組織機構や事務の見直しなどにより職員数の適正化を進めるとともに、施設使用料の改正や民間委託等について検討してまいります。

予算案の概要

◎令和2年度予算

令和2年度の予算編成につきましては、日高町の主要な一般財源である地方交付税は、地方財政計画において2.5パーセントの増となっており、昨年10月の消費税率改正に伴う経費の増、幼児教育・保育の無償化など、社会保障の充実が

図られることによるものであり、町税を含む一般財源総額につきましては大幅な増収を見込めなく、引き続き厳しい財政状況となっております。

このような中ではありませんが、各会計の予算編成は、限られた財源のもと財政の健全化を念頭に置きながら、第2次日高町総合振興計画の目指す将来像実現に向けた様々な施策や事業を盛り込んだところであります。

一般会計の予算規模につきましては、静内対空射撃場周辺漁業用施設（水産物加工施設）設置助成事業等の大型事業を予算計上したことや新たな会計年度任用職員制度などにより、1億2,800万円、前年度との比較では11億5,000万円、11.5%の増となり、扶助費や公債費などの義務的経費が年々増加する中、基金や地方債などに依存する厳しい予算編成となったところであります。

以上、令和2年度の町政執行に臨む、私の所信を述べさせていただきます。

先ほど予算案の概要で申し上げたとおり、地方行政を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした中にあっても元気を失わず進んでいくためには、町が抱える諸課題について、町民の皆さんの知恵もお借りしながら解決していくという姿勢が大切であり、そのためには現状を正しく理解していただくために丁寧な情報発信が必要となります。

もちろん、すべての行政課題がこうした手法により対処できるわけではありませんが、町だけではなく組織を含めた多様な方々の参画は、そこに今までにはなかったエネルギーが出現するはずであり、ひいては「私たちはみんなで作る」という機運にも繋がるものと同じ、今後とも行政運営の基本姿勢としてまいります。

議員各位ならびに町民の皆様のご理解と御協力を心からお願ひ申し上げます。